

# 株式会社トンボ (訪問日：平成30年9月7日)

明治9年(1876年)に現在の玉野市八浜で足袋製造を開始以来、創業140年を超える歴史を持ち、大手学生服業4社のうちの1社として「トンボ学生服」で高い知名度を誇っている**株式会社トンボ**。かなり早い時期から事業所内託児所を設置して、広義の働き方改革を実践してきました。働き方改革関連法施行に伴う対応策、特に、製品需要の特殊性から長時間労働が発生する業界の課題を聴いてきました。

設立：大正13年5月10日(創業明治9年)  
資本金：2億6187万円  
代表者：代表取締役社長 近藤知之  
従業員数：1400人(グループ全体)  
事業内容：学生服などの製造販売  
本社：岡山市北区厚生町2-2-9



労働局長(右)と  
斎藤執行役員 経営管理本部 副部長

## 年次有給休暇

年休の確実な取得を図るため、ちょうど9月が年休の始期となっているタイミングで、計画年休制度を活用した取組を始めている。現在のところ年休の取得率は2割程度と低く、働き方改革関連法が出る前から、取得を促す策に関して社内で検討を進めてきた。従業員個人が選択した日をベースに、5日間計画年休として付与し、働きやすい環境を向上させたいと考えている。なお、基本的に従業員個人が休む日を選ぶことから、従業員の側からこうした仕組みに反対する声は聞いていない。

## 女性労働者

育児休業の取得者の職場復帰は100%だが、工場で働く社員は早く職場復帰を希望する人も多いため、事業所内に託児所のない工場では0歳児の受入をしてもらえる保育施設と法人契約を結び活用してもらっている。また、育児短時間勤務は昨年より子が小学校3年生まで取得できるように延長している。現在は育児でキャリアが中断した後、ステップアップしていくロールモデルを育成している最中であり、今後はこうした先例をキャリアルートとして見えるようにすることを通じて、女性が働き方を選ぶようにしていきたい。

## 繁忙期への対応策

時間外労働の上限を設定するに当たって苦慮しているのが、業務が集中する時期における残業の削減である。入学式の前に当たる3月は、毎年仕事が大変増える。これについては、①人を増やす ②システム化を図り省力化する ③物流の一部の仕事などを外部に委託する、といった対応策が考えられるが、検討の途上にある。

繁忙期の労働時間短縮が最大の課題と認識され、対応策を検討していらっしゃいます。業界のリーディング企業として、他社の先駆けとなる制度の構築を期待したいと思います。